

第十五回フオト旬会優秀作品(24年1月16日)

<自由題>



吾が力
発揮せぬのが
吾が力
大越 浩平

街角の
小さな身勝手
類を呼び
大月 和彦



太陽の
味がしみこむ
吊るし柿
池田 隆



正体を調べたくなる
黒板塀 三 春



シャッターのチャンス
逃さぬ腕ぢから
上山 浩次

自由題寸評：

大越さん：消火器の写真も句も力がある。ようやく本領発揮か？

大月さん：作品全体に従来にないスマートさが見られます。

池田さん：吊るし柿の撮影アングルがよい。写真の説明を避けて
例えば「北風と陽と刻が生む故郷（くに）の味」とか。

三春さん：黒板塀から三春姐さんが出てくる感じ。

上山さん：「シャッターのチャンスを待ってしびれ足」では？

<句 付 け>

1月のお題写真



祭りより目指すはみんなAKB

上山 裕次

下町も元気印は撫子よ

平尾 富男

日本より男子消え去りアマゾネス

池田 隆

草食系男子に世の中任されぬ

平尾 富男

<寸 評>

今月のお題写真は矢澤さん出題の、町のキャンペーンガールです。

上山さん：今流行のAKB。後列なら私だって入れそう。

平尾さん：なでしこジャパンなら貴女だって大丈夫。

池田さん：面相不問のアマゾネスまで出てきました。

平尾さん：要するに現代の日本男子で頼れるのは俺しか居ないと
言う殺し文句。

今年から本勉強会に参加された池田隆さんの活躍が目立ちました。
次回のお題写真の提供は一席の上山さんをお願いしました。

<お知らせ>

現在編集の中の本クラブの機関紙「悠遊」第十九号に当フォト句会の
優秀作品の掲載を検討中です。お楽しみに。